

医療情報処理入門 Guide for Medical Information and Communication Technology

■ 講義番号	■ 科目区分	■ 学期
075002		第2学期
■ ナンバリングコード	■ 教室	
NDGZ1DEDZ0001N	医歯薬融合型教育研究棟2階情報演習室	
■ 必修・選択の別		
必修		
■ 単位数	■ 曜日・時限	
1	金6,金7	
■ 担当教員(ローマ字表記)		
高柴 正悟 [TAKASHIBA Shogo], 柳 文修 [YANAGI Yoshinobu], 小河 達之 [OGAWA Tatsuyuki]		

持続可能な開発目標(SDGs)



■ 対象学生

歯学部 1年次

■ 他学部学生の履修の可否

否

■ 連絡先

高柴正悟 教授(代表)

e-mail: stakashi@okayama-u.ac.jp

電話: 086-235-6675

ファックス: 086-235-6679

他の教員(柳 文修 教授, 小河達之 助手)は, 講義・演習時に紹介

■ オフィスアワー

随時(ICTを活用)

直接面談の場合には, 月曜日 8:00~9:00, 火曜日 17:00~18:00, 木曜日 8:00~9:00(いずれも, 歯学部棟7F 歯周病態学分野)

事前の連絡を, 高柴まで本学の公式e-mail addressを用いて, 行うこと(携帯メールは迷惑メールに分類されて対応できない場合あり)。

詳細に関しては, 実務担当者へ確認してください。

■ 学部・研究科独自の項目

【情報の収集, 処理, 発信】

歯学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)

A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力

A-1 プロフェッショナリズム

A-1-1) 医の倫理と生命倫理

A-2 医学知識と問題対応能力

A-2-1) 課題探究・解決能力

A-2-2) 学修の在り方

A-4 コミュニケーション能力

A-4-1) コミュニケーション

A-6 医療の質と安全管理

A-6-1) 安全性の確保

A-6-2) 医療上の事故等への対処と予防

■ 使用言語

日本語

■ 授業の概要

歯学部で学んで行く上で必要なICT技術を、講義と実習を通して体得する。

■ 学習目的

学内のネットワークを用いた他者との交流、情報の収集と処理、自己表現を安全に可能にする。
特に、e-mail、クラウド、ホームページ等の今後使用するICTの基本的使用(エチケットを含む)を修得する。

■ 到達目標

臨床実習等での医療情報システムを使用する際に必要な情報リテラシーを修得
特に、個人情報保護などの情報セキュリティに関わる知識を持って実践

■ 授業計画

新型コロナウイルス対策のため、online講義を主とします。(15:10 - 16:10, 16:20 - 17:20)

ただし、融合棟PC室(情報演習室)で対面講義を実施する機会を探します。その際には、各自のPCを持参してください。(情報処理入門1で対応できなかった部分へ対応します。)

講義場所の変更 に注意; moodleでお知らせします。

第1回 6月3日(金) 融合棟PC室(情報演習室) or Online

1. 医療情報入門: 1)医療情報としての診療録(カルテ)の扱い方; 2)医療情報の社会での位置づけとPersonal Health Record(PHR); 3)電子カルテの考えかた
2. 岡大IDを攻略せよ: gmailの設定や、手持ちのスマートフォン等を学内で快適に利用するための準備をしよう
【高柴正悟, 柳 文修, 小河達之】

第2回 6月10日(金) 融合棟PC室(情報演習室) or Online

1. 医療情報倫理: 1)医療情報を扱う上での『倫理』; 2)実際の文書ファイルの扱いと個人情報保護
2. Googleに乗っかれ: 学生用のGmailを用いて、コミュニケーションを取る方法を学ぼう。また、Googleの各種サービスを使ってみよう
【高柴正悟, 柳 文修, 小河達之】

第3回 6月17日(金) 融合棟PC室(情報演習室) or Online

1. 災害時の医療情報: 1)災害時での医療情報の価値; 2)検索できる災害時医療制度
2. Officeに使われるな: Word, Excel, PowerPointの基本的な操作を学ぼう
【高柴正悟, 柳 文修, 小河達之】

第4回 6月24日(金) 融合棟PC室(情報演習室) or Online

1. 医療情報の一次利用と二次利用: 1)一次利用(診療目的の利用, 医療行為の公的書類作成のための利用); 2)二次利用(病院経営管理のための利用, 社会的利用, 医療政策の立案・検証への利用, 医学教育などへの利用(卒前教育・卒後研修を含む))
2. 検索で何を聞く?: 歯学部で学ぶために必要な文献の検索方法を学ぼう
【高柴正悟, 柳 文修, 小河達之】

第5回 7月1日(金) 融合棟PC室(情報演習室) or Online

1. 歯科・口腔領域の情報システムの特徴: 1)歯科・口腔領域の診療の特徴; 2)歯の部位のシステム的取扱い; 3)歯科の予約システム; 4)歯科衛生士, 歯科技工士が関わるシステム; 5)歯科の診療規模とシステムの関係
2. 調べたらまとめよう: 自分の興味に従い調査した内容を、Officeを利用してまとめてみましょう
【高柴正悟, 柳 文修, 小河達之】

第6回 7月8日(金) 融合棟PC室(情報演習室) or Online

1. 医科歯科連携
2. 伝えるための準備: PowerPointやWebページを含めて、公開する時の注意点について考えてみよう
3. Webページ作ってみよう?: ホームページをつくってみよう
【高柴正悟, 柳 文修, 小河達之】

第7回 7月22日(金) 融合棟PC室(情報演習室) or Online

1. 医療の安全と医療情報
2. Webページ作ってみよう?: ホームページをつくってみよう
【高柴正悟, 柳 文修, 小河達之】

第8回 7月29日(金) 融合棟PC室(情報演習室) or Online

1. 試験:相互評価; 何できた? 発表して,お互いの作品を見てみよう
[高柴正悟, 柳 文修, 小河達之]

■ 授業時間外の学習(予習・復習)方法(成績評価への反映についても含む)

自宅課題あり(情報処理室での自習が必要)

■ 授業形態

(1)授業形態-全授業時間に対する[講義形式]:[講義形式以外]の実施割合

60% : 40%

(2)授業全体中のアクティブ・ラーニング

協働的活動(ペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど)

やや少ない

対話的活動(教員からの問いかけ、質疑応答など)

やや少ない

思考活動(クリティカル・シンキングの実行、問いを立てるなど)

やや多い

理解の確認・促進(問題演習、小テスト、小レポート、授業の振り返りなど)

多い

(3)授業形態-実践型科目タイプ

Cタイプ(実習や演習だが社会連携したものでない)

(4)授業形態-履修者への連絡事項

予備知識を持っていなくても,自ら勉強して自分自身を改善するための感覚/動機を持っているべきです。

講義形式以外の内容として発表と他已評価あり。

■ 使用メディア・機器・人的支援の活用

視聴覚メディア(PowerPointのスライド、CD、DVDなど)

多い

学習管理システム(Moodleなど)

多い

人的支援(ゲストスピーカー、TA、ボランティアなど)

多い

履修者への連絡事項

融合棟PC室(情報演習室)のPCを使用

■ 教科書

備考

情報統括センターの全学用教科書を使用

■ 参考書

備考

講義時に紹介

学内の情報統括センターのホームページ(<http://www.okayama-u.ac.jp/user/citm/index.html>)上の資料

歯学部のスタッフオンリーページ内の資料(歯学部内からのみ接続可能)

■ 成績評価基準(授業評価方法)

2/3以上の出席は必須; レポート・実習・テストによって総合評価

毎回のレポートは, e-mailやクラウドをしようして提出する。

最終的な試験は, 自己表現と学部紹介のホームページを自作することになる。

受講要件

医療に携わる者には必須

教職課程該当科目

この項目は当該科目には該当しない

JABEEとの関連

関連しない

持続可能な開発目標 (SDGs)

(保健)あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
(持続可能な生産と消費)持続可能な生産消費形態を確保する。

実務経験のある教員による授業科目

該当する

岡山大学病院の医療情報部専門委員会の教員(内2人は歯科医師)が担当する。

備考/履修上の注意

授業形態・使用機器

鹿田キャンパス内の教育用PCを使用。

さらに、スマートフォンや自宅のPC & Macの使用もあり。

教員は、岡山大学病院の医療情報部で実務を担っている。

学習成果(LCOs)

「学修成果(LCOs)」	関連するコア・コンピテンシー	評価の方法
臨床・研究での倫理規範と患者の権利を尊重し誠実に行動できる。	倫理観	ディスカッション、レポート
職務上の不正を認識し、所属機関・社会の規範を遵守できる。	市民としての社会的責任	ディスカッション、レポート
社会における各種医療運用システムを理解し応用できる。	情報リテラシー	ディスカッション、レポート
情報のアップデートと品質管理をしつつ、守秘義務を遵守できる。	倫理観	ディスカッション、レポート
医療プロフェッショナルとして生涯にわたり自己を高めていく重要性を説明できる。	自己管理力	ディスカッション、レポート
地域の社会、文化、環境的要因や高齢化を考慮し医療に従事できる。	市民としての社会的責任	ディスカッション、レポート

[コア・コンピテンシーに関する説明](#)